

本日よりこと

① Fourier 級数

- Fourier 級数とはどういうものか

Fourier 級数とはどういうものか

2次元ベクトル空間の正規直交系

[2 次の列ベクトル空間] : 2 次の列ベクトル全体の集合。

$$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix}, \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix} \quad \text{に対して}$$

$$\text{和} : \mathbf{x} + \mathbf{y} = \begin{pmatrix} x_1 + y_1 \\ x_2 + y_2 \end{pmatrix}$$

$$\text{スカラー倍} : k\mathbf{x} = \begin{pmatrix} kx_1 \\ kx_2 \end{pmatrix}$$

$$\text{内積} : \mathbf{x} \bullet \mathbf{y} = |\mathbf{x}| |\mathbf{y}| \cos \theta = x_1 y_1 + x_2 y_2$$

$$\text{大きさ} : |\mathbf{x}| = \sqrt{\mathbf{x} \bullet \mathbf{x}} = \sqrt{x_1^2 + x_2^2}$$

と定める.

Fourier 級数とはどういうものか

2次元ベクトル空間の正規直交系

ベクトル e_1, e_2 が

$$|e_1| = |e_2| = 1, \quad e_1 \bullet e_2 = 0$$

をみたすときベクトルの組 $\{e_1, e_2\}$ は**正規直交系**であるという。例えば

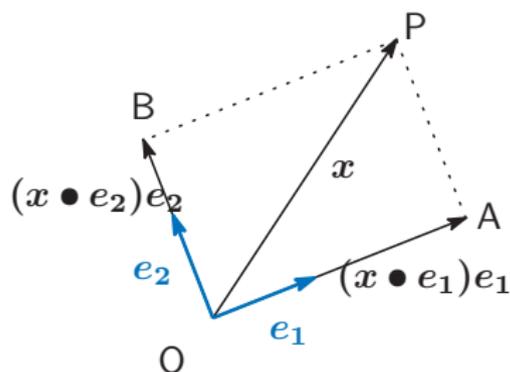
$$\left\{ \left(\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}} \right), \left(\frac{1}{\sqrt{2}}, -\frac{1}{\sqrt{2}} \right) \right\}, \quad \left\{ \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\}, \quad \left\{ \begin{pmatrix} 4 \\ 3 \\ 5 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -3 \\ 4 \\ 5 \end{pmatrix} \right\} \dots$$

などは正規直交系である。

Fourier 級数とはどういうものか

2次元ベクトル空間の正規直交系

直交分解



2 次の列ベクトル空間において、 $\{e_1, e_2\}$ を正規直交系とするとき任意のベクトル x に対して

$$x = (x \cdot e_1) e_1 + (x \cdot e_2) e_2 \cdots (*)$$

が成り立つ。

[確かめ] O を原点とし 点 A, B, P を

$$(x \cdot e_1) e_1 = \vec{OA}, \quad (x \cdot e_2) e_2 = \vec{OB}, \quad x = \vec{OP}$$

となるように取る。

Fourier 級数とはどういうものか

2次元ベクトル空間の正規直交系

$$\overrightarrow{AP} = \overrightarrow{OP} - \overrightarrow{OA}$$

$$\overrightarrow{BP} = \overrightarrow{OP} - \overrightarrow{OB}$$

$$\overrightarrow{AP} \bullet e_1 = (x - (x \bullet e_1)e_1) \bullet e_1 = x \bullet e_1 - (x \bullet e_1)e_1 \bullet e_1 = 0,$$

$$\overrightarrow{BP} \bullet e_2 = (x - (x \bullet e_2)e_2) \bullet e_2 = x \bullet e_2 - (x \bullet e_2)e_2 \bullet e_2 = 0$$

だから $OA \perp AP$, $OB \perp BP$. 一方 $\{e_1, e_2\}$ は正規直交系だから $OA \perp OB$. 従って $OAPB$ は長方形となるので (*) がなりたつ.

$(x \bullet e_1)e_1$, $(x \bullet e_2)e_2$ をそれぞれ x の e_1 , e_2 への**正射影**とよぶ.

Fourier 級数とはどういうものか

n 次元ベクトル空間の正規直交系

同様に n 次の列ベクトル全体を n 次の列ベクトル空間という. 以上のことは n 次元でも成り立つ.

$$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ \vdots \\ x_n \end{pmatrix}, \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ \vdots \\ y_n \end{pmatrix} \quad \text{に対して 内積 } \mathbf{x} \bullet \mathbf{y} \text{ と大きさ } |\mathbf{x}| \text{ を}$$

$$\mathbf{x} \bullet \mathbf{y} = x_1 y_1 + \cdots + x_n y_n, \quad |\mathbf{x}| = \sqrt{\mathbf{x} \bullet \mathbf{x}} = \sqrt{x_1^2 + \cdots + x_n^2}$$

で定める. ベクトル $\mathbf{e}_1, \dots, \mathbf{e}_n$ が

$$|\mathbf{e}_1| = \cdots = |\mathbf{e}_n| = 1, \quad \mathbf{e}_i \bullet \mathbf{e}_j = 0 \quad (i \neq j)$$

をみたすときベクトルの組 $\{\mathbf{e}_1, \dots, \mathbf{e}_n\}$ は**正規直交系**であるという.

Fourier 級数とはどういうものか

n 次元ベクトル空間の正規直交系

直交分解

n 次の列ベクトル空間において, $\{e_1, \dots, e_n\}$ を正規直交系とするとき任意のベクトル x に対して

$$x = (x \bullet e_1) e_1 + \dots + (x \bullet e_n) e_n \cdots (\star 2)$$

が成り立つ.

Fourier 級数とはどういうものか

Fourier 級数の定義

ここまでのことを関数の世界でやってみよう.

関数の集合も足し算とスカラー倍ができてベクトル空間となる。

また, 大きさ・内積にあたる量を定義することもできる。(ただし無限次元でありあつかいの難しいことがある。)

ここでは以下の積分が意味を持たなくてはならないので, **2乗が積分可能であるような関数のみを考える**ことにする。また積分の考え方も, 連続でない関数も積分できるようにするため, 高校以来考えた Riemann 積分ではなく **Lebesgue 積分**というものに切り替える。詳しい説明はしない。

Fourier 級数とはどういうものか

Fourier 級数の定義

f, g を区間 $[-\pi, \pi]$ で定義された関数とする. **内積** (f, g) と **ノルム** $\|f\|$ を

$$(f, g) = \int_{-\pi}^{\pi} f(x)g(x) dx, \quad \|f\| = \sqrt{(f, f)} = \sqrt{\int_{-\pi}^{\pi} f(x)^2 dx}$$

で定める. これはベクトルの内積, 大きさと同様の性質を持つ.

関数 $\varphi_1, \varphi_2, \dots$ が

$$\begin{aligned} \|\varphi_i\| &= 1, \quad (i = 1, 2, \dots), \\ (\varphi_i, \varphi_j) &= 0, \quad (i \neq j) \end{aligned}$$

をみたすとき関数の組 $\{\varphi_i; i = 1, 2, \dots\}$ は区間 $[-\pi, \pi]$ 上の**正規直交関数系**であるという.

Fourier 級数とはどういうものか

Fourier 級数の定義

[例]

$$\left\{ \frac{1}{\sqrt{2\pi}}, \frac{1}{\sqrt{\pi}} \cos nx, \frac{1}{\sqrt{\pi}} \sin nx; n = 1, 2, \dots \right\} \cdots (\star 3)$$

は正規直交関数系である.

[確かめ]

$$\left\| \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \right\|^2 =$$

$$\left\| \frac{1}{\sqrt{\pi}} \cos nx \right\|^2 =$$

$$\left(\frac{1}{\sqrt{2\pi}}, \frac{1}{\sqrt{\pi}} \cos nx \right) =$$

Fourier 級数とはどういうものか

Fourier 級数の定義

正規直交関数系 (*3) を使って (*2) にあたることをやってみよう。

$$\begin{aligned} \text{(*2) の右辺の和} &= \left(f, \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \right) \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \\ &\quad + \sum_{n=1}^{\infty} \left(\left(f, \frac{1}{\sqrt{\pi}} \cos nx \right) \frac{1}{\sqrt{\pi}} \cos nx \right. \\ &\quad \left. + \left(f, \frac{1}{\sqrt{\pi}} \sin nx \right) \frac{1}{\sqrt{\pi}} \sin nx \right) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} a_n &= \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos nx \, dx, \quad b_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin nx \, dx \quad \text{とおくと} \\ &= \frac{a_0}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos nx + b_n \sin nx) \end{aligned}$$

となる。

Fourier 級数とはどういうものか

Fourier 級数の定義

Fourier 級数の定義

$$a_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos nx \, dx, \quad b_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin nx \, dx \quad \text{とおくとき}$$

$$f(x) \sim \frac{a_0}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos nx + b_n \sin nx) \cdots (2)$$

と表す. この右辺の級数を f の **Fourier 級数** という.

定理: Fourier 級数の収束

関数 f は $[-\pi, \pi]$ 上区分的に連続で, 導関数 f' も区分的に連続であるとする. この時 f の Fourier 級数はすべての x で収束し, その和は $\frac{1}{2}(f(x+0) + f(x-0))$ に等しい.

Fourier 級数とはどういうものか

Fourier 級数の定義

ここで $f(x+0) = \lim_{\varepsilon \rightarrow +0} f(x+\varepsilon)$, $f(x-0) = \lim_{\varepsilon \rightarrow +0} f(x-\varepsilon)$ は片側極限であり, f が x で連続ならば $\frac{1}{2}(f(x+0) + f(x-0)) = f(x)$ である. また $x = \pm\pi$ である場合は, 関数 $f(x)$ を周期 2π の関数として $-\infty < x < +\infty$ に拡張して考え $f(x+0)$, $f(x-0)$ を計算するものとする.